

歩こう会 歴史のアルバム 第11回

平成7年(1995年)4月25日(火)

奈良 山の辺の道(1)を散策 参加者 23名

(近鉄天理駅～ 天理教を見学し柳本で解散)



夜都伎神社

天理市で木町の北方集落からやや離れた宮山(たいこ山)というに鎮座し俗に春日神社といひ春日の口ゆゑに春日と云ふ。もと、交野代(たけの代)の春日神社といふに二社はあつたが、交野代神社の社地を竹之内の三明池池と交換して春日神社一社に神宮のみを変えたのが現地の夜都伎神社である。明治以前は春日神社に数社深く、明治以前までは当社から道の御と出雲する神宮に供し、春日から若宮社殿と鳥居を下げらるゝのが例になつて居る。現在の木下(1899年、1906年)改築したもの。春日宮の皮葺、高欄、法衣、向拝彩色7種の無型な何れかの神社が天神、琴平神社と並列して美型を呈す。神代、美型でこの地方に珍しい神社建築である。鳥居は享和元年(1848年)4月奈良の春日宮から下げられたものといふ。

